



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊原 英二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役現業支援本部長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,925	△2.8	127	51.9	136	41.3	87	56.8
2024年3月期第3四半期	10,208	△6.8	83	△70.7	96	△70.1	55	△73.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 100百万円(58.1%) 2024年3月期第3四半期 63百万円(△67.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	17.90	—
2024年3月期第3四半期	11.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,595	7,358	44.3
2024年3月期	16,263	7,355	45.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,358百万円 2024年3月期 7,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	4.4	150	—	150	—	100	—	20.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	5,155,600株	2024年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	288,193株	2024年3月期	288,193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	4,867,407株	2024年3月期3Q	4,867,407株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調となる一方、原材料価格の高騰や長引く円安に伴う物価上昇、海外景気の下振れリスク等により依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「オリジナル商品の価値向上」とし、開発体制を強化するとともに商品力の強化を通して価格以上の価値をお客様にお届けすべく、顧客満足度の高い商品提供を目指してまいりました。しかしながら、通信販売事業の売上が計画を下回った結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、99億25百万円（前年同期比2.8%減）となりました。利益面は、店舗販売事業が堅調に推移したことおよび販管費の削減を図ったことにより、営業利益は1億27百万円（前年同期比51.9%増）、経常利益は1億36百万円（前年同期比41.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（前年同期比56.8%増）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では受注を喚起するため、靴・衣料・雑貨の各カテゴリーにて低価格帯の販売促進商品を投入した他、春夏・秋冬新商品を770点投入しました。また、8月より機能・価値を付加した高価格帯商品『手を使わずに履ける靴「SP-ON（税込3,190円）」』を販売開始し、さらに11月以降「SP-ON」の新シリーズ8種類を追加投入するなど幅広い顧客層の受注喚起を図りました。販売促進面では、インスタグラム、Xを活用したインフルエンサーによる商品PR等のSNS施策ならびにアプリを使った参加型の靴祭りキャンペーン等を実施し、新規顧客の獲得・既存顧客のリピート購入の拡充に努めました。その結果、「SP-ON」は受注累計が3万5千足に達し、新規顧客の獲得に相応の成果を得ることができました。しかしながら、急激な円安の下、仕入価格の上昇等により価格に見合った価値のある商品を幅広く提供するには至らず、総受注件数は前年同期を下回りました。この結果、売上高は47億26百万円（前年同期比8.9%減）となりました。利益面は経費の削減に努めましたが、減収の影響によりセグメント利益は2億84百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、岩岡本店食品館のリニューアルを機に来店客数は増加基調で推移し、食品部門のみならず他の部門にも好影響をもたらしました。また、靴部門の売上高は、「SP-ON」の販売が2万足を超えるなど、総合店・靴専門店ともに堅調な伸びを示し、前年同期を大きく上回りました。加えて、粗利益率の高いオリジナル商品の売上の増加が売上総利益率のアップに寄与しました。この結果、売上高は50億38百万円（前年同期比3.7%増）となりました。利益面は、専門店の人件費および食品館のリニューアルに係る経費は増加しましたが、増収および売上総利益率のアップにより、セグメント利益は1億40百万円（前年同期比153.4%増）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先に対してレインシューズ・カジュアルスニーカーを主に販売を伸ばした他、ホームセンター向け販売において取扱店舗数の増加により商品の受注は堅調に推移し、前年同期を概ね確保した結果、売上高は1億59百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益面は、拠点集約等による固定費の圧縮および売上総利益率が改善し、セグメント利益は8百万円（前年同期は損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億12百万円増加し、111億44百万円となりました。これは、現金及び預金が8億73百万円増加し、売掛金が3億35百万円、商品が1億47百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、54億50百万円となりました。これは、有形固定資産が59百万円、無形固定資産が14百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億31百万円増加し、165億95百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、37億29百万円となりました。これは、短期借入金が2億円、買掛金が1億41百万円増加し、その他の流動負債が3億27百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、55億7百万円となりました。これは、長期借入金が3億19百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円増加し、92億36百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、73億58百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント低下し、44.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ3億26百万円減少し、25億33百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億77百万円（前年同期比62.6%減）となりました。これは主に、売上債権の減少額3億36百万円、減価償却費2億16百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13億19百万円（前年同期比41.7%増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出32億円、有形固定資産の取得による支出1億19百万円、定期預金の払戻による収入20億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、4億16百万円（前年同期比73.9%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円、長期借入金の返済による支出16億48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2024年5月10日の決算短信にて発表しました2025年3月期の業績予測を見直した結果、当該第3四半期において2025年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,790,598	7,663,627
売掛金	898,326	563,291
商品	2,849,203	2,702,201
未着商品	75,804	112,252
貯蔵品	11,985	10,746
その他	112,865	99,027
貸倒引当金	△6,319	△6,344
流動資産合計	10,732,463	11,144,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,888,397	1,797,852
土地	3,098,931	3,098,931
その他（純額）	154,395	185,545
有形固定資産合計	5,141,724	5,082,329
無形固定資産	72,496	57,664
投資その他の資産	316,955	310,536
固定資産合計	5,531,177	5,450,529
資産合計	16,263,641	16,595,332
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,758	760,809
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,972,614	2,003,926
未払法人税等	12,940	34,949
賞与引当金	111,237	64,260
役員賞与引当金	-	3,750
契約負債	17,031	14,489
その他	974,576	647,072
流動負債合計	3,708,158	3,729,257
固定負債		
長期借入金	4,858,381	5,178,181
退職給付に係る負債	195,890	197,517
資産除去債務	52,783	53,634
その他	93,174	78,358
固定負債合計	5,200,229	5,507,691
負債合計	8,908,388	9,236,949

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,834,534	5,824,301
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,279,342	7,269,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,409	47,758
繰延ヘッジ損益	25,882	29,969
為替換算調整勘定	12,618	11,544
その他の包括利益累計額合計	75,910	89,271
純資産合計	7,355,252	7,358,382
負債純資産合計	16,263,641	16,595,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,208,804	9,925,388
売上原価	5,500,672	5,410,243
売上総利益	4,708,131	4,515,144
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,236,966	1,077,403
貸倒引当金繰入額	3,549	5,017
給料手当及び賞与	1,393,014	1,396,687
賞与引当金繰入額	64,722	64,260
その他	1,926,194	1,844,687
販売費及び一般管理費合計	4,624,447	4,388,055
営業利益	83,683	127,089
営業外収益		
受取利息	4,557	6,582
受取配当金	2,436	2,849
為替差益	-	703
受取補償金	12,575	11,209
その他	20,635	14,311
営業外収益合計	40,204	35,657
営業外費用		
支払利息	21,707	25,750
為替差損	5,048	-
その他	227	88
営業外費用合計	26,983	25,838
経常利益	96,904	136,907
税金等調整前四半期純利益	96,904	136,907
法人税、住民税及び事業税	26,281	40,605
法人税等調整額	15,051	9,186
法人税等合計	41,333	49,791
四半期純利益	55,571	87,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,571	87,115

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	55,571	87,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,386	10,349
繰延ヘッジ損益	△1,547	4,086
為替換算調整勘定	△2,847	△1,074
その他の包括利益合計	7,991	13,361
四半期包括利益	63,562	100,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,562	100,477
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,904	136,907
減価償却費	223,800	216,575
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,006	25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47,263	△46,977
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,625	3,750
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,219	1,627
受取利息及び受取配当金	△6,993	△9,432
支払利息	21,707	25,750
為替差損益 (△は益)	△228	1,261
売上債権の増減額 (△は増加)	375,517	336,004
棚卸資産の増減額 (△は増加)	768,101	111,793
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,762	140,222
契約負債の増減額 (△は減少)	△810	△2,542
その他	69,284	△320,447
小計	1,570,620	594,518
利息及び配当金の受取額	7,184	8,570
利息の支払額	△21,917	△26,407
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△14,371	583
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,541,516	577,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,400,000	△3,200,000
定期預金の払戻による収入	500,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△27,807	△119,782
有形固定資産の売却による収入	63	-
投資有価証券の取得による支出	△400	△451
その他	△3,188	555
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931,332	△1,319,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	200,000
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,628,831	△1,648,888
配当金の支払額	△97,410	△97,434
その他	△34,218	△37,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,539	416,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,637	△1,072
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	852,361	△326,970
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,799	2,860,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,481,160	2,533,627

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,189,443	4,858,301	161,059	10,208,804	—	10,208,804
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,189,443	4,858,301	161,059	10,208,804	—	10,208,804
セグメント利益又は損失(△)	335,505	55,301	△5,746	385,060	△301,376	83,683

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△301,376千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃28,264千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,726,485	5,038,942	159,959	9,925,388	—	9,925,388
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,726,485	5,038,942	159,959	9,925,388	—	9,925,388
セグメント利益	284,887	140,117	8,313	433,317	△306,228	127,089

(注) 1 セグメント利益の調整額△306,228千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの売上高は、受取家賃27,053千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。